

あさくち

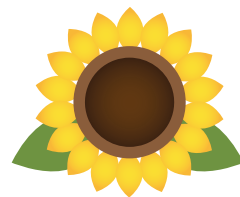
議会だより

No.
70

令和8年**2026**
8月1日発行

トピックス

- ・令和8年度補正予算を可決 P 2
- ・所管事務調査がスタート P13



あさくち議会 🔍

Contents

- P2 6月定例会
- P4 委員会レポート
- P6 市政を問う! 一般質問



竜王山を望む議長室

令和8年度 一般会計補正予算

5億9,825万円

の増額補正予算を可決

総額は **162億6,825万円**
(対前年度比14.2%減)

議会が注目する事業

健康福祉センター空調機器更新事業

老朽化した健康福祉センターの
空調機器の更新を行う。**8,107万円**

企業立地促進奨励金

市内の土地を取得し、
製造工場等を建設した企業に対し、
企業立地促進奨励金を交付する。**4,041万円**

花火大会実行委員会補助金

花火大会実行委員会に
補助金を交付する。**1,500万円**

金光駅西公園整備事業

金光駅西公園の整備のため、
用地取得等を行う。**4,317万円**

各議員の判断はいかに!?

議案審議



参加議員

井上 桑野 加藤 佐藤 伊藤 山下 沖原 早苗 竹本 斎藤 山本 田中 佐藤 平尾 大武
邦男 良夫 和淳 正人 誠吾 有美 ネ 寛 貴士 良通 慎二 清美 智恵

(議長)

※議長は採決に加わりません。

賛否が分かれた議案

条例



市営駐車場条例の一部改正

賛成 井上、桑野、加藤、佐藤正、山下、沖原、竹本、斎藤、山本、佐藤清、平尾、大武

反対 香取、早苗、田中

反対
討論

田中 慎二 議員

本町駐車場を三日市駐車場に統合することは、児童生徒が通学する狭い通学路の交通量を増やすことになる。危険が拡大するような議案について承認することはできない。その対策として質疑の際に、通知文書による注意喚起、駐車場出入り口付近の見通しの改善と照明の設置を挙げられたが、これでは安全性は担保できない。

賛成
討論

加藤 淳二 議員

統合によって運営の効率化を図ることは、公共施設の適正化を推進することとなり妥当な判断と考える。通学路を通行する車両が増えることは否定できないが、子どもたちの安全を守るためには駐車場統合という個別事象を切り離し、当該通学路を通行する全ての車両を対象とした包括的な交通安全対策が必要である。

参加者全員が賛成した議案等

発議	広報広聴特別委員会の設置	条例	障害者医療費給付条例の一部改正
承認	専決処分した事件の承認 (和解及び損害賠償額の決定)		介護保険条例の一部改正
条例	行政手続条例の一部改正	補正予算	令和8年度一般会計補正予算(第1号)
	印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正		令和8年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
	特別職の職員で非常勤のものの報酬 及び費用弁償に関する条例の一部改正		令和8年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
	地方活力向上地域等特定業務施設 整備計画に伴う固定資産税の特例に関する 条例の一部改正		令和8年度介護保険特別会計補正予算(第1号)
	公民館条例の一部改正	その他	議員の辞職について

◆ 議員の辞職について
井上邦男議員から令和8年6月26日、一身上の都合により同日をもって議員を辞職したい旨の議員辞職願が提出され、同日、議会において許可されました。

歳入歳出それぞれ
5億9825万8000円を追加。

Q 公園費の中に用地購入費が計上されているが、用地交渉の進捗状況は。

A 地権者と話し合いをしており、前向きに進んでいる。

Q 建物の補償で約1300万円計上されていると思うが、建物は住居か。

A 建物については住居ではなく、倉庫が対象となっている。

Q 企業立地促進奨励金の対象企業の名前は。

A (株) JIMAXとコーセーエン
ジニアリング(株)。

地域クラブ参加者支援補助金の詳細は。

A 生活困窮者世帯の生徒への支援ということ、国から補助が

ある。補助基準額は、月額3000円の上限と保険料が800円となっている。また、対象者は約40人と見込んでいる。

Q 補助を受けるのに所得制限等はあるか。

A 要保護・準要保護世帯に準ずる形になっている。

◆国民健康保険特別会計

補正予算(第1号)

歳入歳出
それぞれ23万1000円を追加。

◆後期高齢者医療特別会計

補正予算(第1号)

歳入歳出
それぞれ30万8000円を追加。

◆介護保険特別会計

補正予算(第1号)

保険事業勘定の歳入歳出それぞれ28万7000円を追加。

(6月18・19日開催)

予 算 決 算

委 員 長	竹 本 寛
副委員長	沖 原 有美
委 員	議員全員で 構成してい ます

◆所管事務調査について

今後取組む調査事項のテーマについて、

●公共交通

●農業振興

●防犯カメラ及びカーブミラーの設置

●地域防災力の強化

●自転車交通に関する

新しい法律の周知徹底
という意見があった。

協議の結果、市内での耕作放棄地の増加が深刻であり、これらを適正に管理し、地域の農業振興を促進するための方法論を調査する必要性が重要視されたため、「農地の維持管理の適正化」に決定した。

(5月14日開催)

◆市営駐車場条例の一部を

改正する条例について

鴨方本町駐車場を鴨方三日市駐車場へ統合することに伴い、鴨方本町駐車場にかかる記載を削るもの。

Q 本町駐車場の利用者への説明は。

A 事前に今後のスケジュール等を文書等で説明している。

◆金光駅西公園再整備事業のスケジュールの見直しについて

令和9年度から再整備工事着手を
目指すこととしていたが、社会資本整
備総合交付金・都市公園ストック再編
事業）を活用することで市の財政負担
を軽減できる。再編事業計画を作成す
れば、市の都市公園6力所でも交付金
の充当が可能になるため、再整備工事
の着手時期を1年間延期し、10年度の
着手をを目指すこととしたい。

Q 6つの公園中、駅西公園とどこかを統合することも含まれているのか。

A 駅西公園のテニスコートを金光スポーツ公園に集約する。そのことで、金光スポーツ公園のテニスコートの改修費に交付金が充当可能となる。

(6月22日開催)

総務産業		
委員長	佐藤 正人	
副委員長	山本 良通	
委員	平尾 進	
	佐藤 清美	
	斎藤 貴士	
	冲原 有美	
	香取 良勝	
	井上 邦男	



◆所管事務調査について

今後取組む調査事項のテーマについて

●妊娠、出産から学齢期まで切れ目のない支援として、若い世代の本市への定住につながるサービスの拡充

●教育現場における「合理的配慮」について、教職員の意識統一や専門家による支援体制の整備

●子どもが安全・衛生的に過ごせる住環境の整備

●部活動の移動手段を確保し、保護者の送迎負担を軽減するような仕組みづくり

という意見があった。

これらの課題を包括的に調査・研究していく必要があるとの認識で一致し、調査のメインテーマを「切れ目のない子ども・子育て支援」に決定した。

(5月15日開催)

◆公民館条例の一部を改正する条例について

鴨方公民館の廃止に伴い、条例の

中から鴨方公民館に関する部分を削除するもの。

Q 耐震工事ができていないこと以外に廃止となる理由はあるか。

A 令和7年8月に移転したつどいの広場「のびっ子」以外の利用が少ないことなど、総合的に勘案した結果、耐震化工事も検討したが、高額な費用がかかる。

A 跡地の利用について方向性は決まっているか。

売却を含めて、さまざまな可能性を検討している。

Q 跡地の利用について方向性は決まっているか。

売却を含めて、さまざまな可能性を検討している。

◆所管事務調査について

相談支援体制のワンストップ化と伴走支援の充実など、切れ目のない支援に関する意見を集約した結果、サブテーマを「子ども家庭センターの設立に向けて」に決定した。

(6月23日開催)

厚生文教

委員長	山下大田	周智恵
副委員長	武中本	慎二
委員	竹苗伊	寛ネ
	早澤藤	ネ誠
	加桑野	淳二
		和夫

常任委員会を再編

令和8年度から

●総務産業常任委員会(企画財政部・産業建設部・上下水道部)

●厚生文教常任委員会(生活環境部・健康福祉部・教育委員会)

●予算決算常任委員会(予算議案・決算認定等を審査)

を設置しました。

特に、これまで予算や決算の審査は各常任委員会へ分割付託していましたが、議案不可分の原則を踏まえ、予算決算常任委員会で一括して審査する体制の整備を図りました。

今後、予算や決算の審査等については集中して審査することにより、効率的な議会運営に努めます。



予算決算常任委員会の様子

広報広聴特別委員会を設置

このたび、議会だよりの編集・発行と市民の声を聴く活動を一体的に進めるため、「広報広聴特別委員会」を設置しました。従来は別にしていた議会報告会の運営会議と広報業務を一元化し、効率的で効果的な広報・広聴活動を目指します。



市民の意見を代表して
質問します！



録画放送
配信中



市政を問う！

一般質問



定例会

委員会レポート

市政を問う！
一般質問！

6月定例会では、13人の議員が市の考えを聞きました。

質問者	質問項目
香取 良勝	○地域総合整備資金について ○工業団地B地区について ○合併特例債について ※通告は上記のとおりでしたが、一般質問を取りやめました
竹本 寛	○浅口市の防犯対策と高齢者等の見守りを両立した安心安全のまちづくりについて尋ねる ○浅口市のプール授業における熱中症対策等について尋ねる
平尾 進	○公立の小、中、義務教育学校のトイレについて ○公立の小、中、義務教育学校の体育館の冷暖房設備について
田中 慎二	○令和8年度予算について ○浅口市通学路等交通安全プログラムについて ○浅口市内の公園整備について
加藤 淳二	○浅口市の河川^{しゅんせつ}浚渫工事について ○ごみのリサイクルについて
早苗 ネネ	○高齢者（75歳以上）の生活実態について ○独り暮らしの高齢者について ○家族と同居する高齢者について ○高齢者の尊厳保持に向けた基本理念について
桑野 和夫	○高齢者がいきいきと生活できる浅口市のために ○「来なくてもよい、行かなくてもよい市役所」について
山下 周吾	○水道について ○改正道路交通法について
山本 良通	○浅口市内のため池の状況について ○浅口市が購入しているリモコン対応式草刈り機について
佐藤 清美	○地域防災力の強化について ○空き家の適正管理について
沖原 有美	○防災について ○放課後児童クラブについて
佐藤 正人	○令和8年度当初予算の「倉敷市常備消防負担金（7,636万円）」について ○結婚・誕生・移住等対象者へ記念樹サポーターの導入について
大武 智恵	○5歳児健診について ○一時預かり事業について ○ファミリー・サポート・センター事業について ○浅口市のテニスコートについて

今回、一般質問を取りやめる。
というのは、今回の選挙において、市民からの信頼がなかったと思うからだ。金光町議会議員の最初の選挙で落選した時と、今回の票数は変わらなかった。2回目の際には今回の倍の票数があった。ということは、今回は市民から信頼されていないということだ。だから市長に対して、悪いことをしようがどうしようが私は一切関知しない、ということなので今回は質問をやめる。
市には他に15人の議員がいる。その方々に行政並びに税金の無駄遣いその他についてただしてもらいたい。



香取 良勝



竹本 寛



浅口市の防犯対策と高齢者等の見守りを両立した安心安全のまちづくりについて
問 防犯カメラについて。防犯目的だけでなく、高齢者や障がい者の見守りの観点でも活用している事例は。
健福 今のところはない。
問 システム自体は見守りに適用できるのか。
健福 市の管理運用要領に従ってデータを活用する。
問 見守り体制について、安心みまもりシール交付等事業で、現在17件交付済みとのことだが、障がい者への拡大実施は。
健福 内容を検討中である。
問 高齢者が多い地域や交通量の多い箇所への防犯カメラの設置拡充の考えは。

企財 地域の実情や防犯上の必要性を勘案して対応する。令和8年度は新規1台、更新1台を計画している。
問 防犯カメラの整備は犯罪抑止だけでなく、行方不明者の早期発見や地域の安心感にもつながる。関係部署間の連携を含めて、今後の方向性は。
市長 防犯担当部署と福祉担当部署が連携し、防犯カメラ映像やドローンの活用も含めた捜索活動に取組み、高齢者等の安全・安心の確保に努める。
浅口市のプール授業における熱中症対策等について
問 児童・生徒の健康管理は。
教育次 授業前の健康状態の確認により、プールサイドでの見学や自主学習等としている。
問 プールサイドの環境改善は。
教育次 遮熱マットやテント設置等の日除け対策を行っている。
問 安全に配慮したプール授業の在り方について市の考えは。
教育次 授業の実施時期や時間の工夫等、各学校の実情に合わせて対応しており、引き続き熱中症対策を含めて安全に配慮した対応を行う。



平尾 進



公立の小、中、義務教育学校のトイレについて

問 公立小、中、義務教育学校の洋式トイレ及び暖房便座の設置割合は。

教育次 洋式化率は、竹小81%、金小88%、吉備小79%、鴨東小80%、鴨西小85%、六小100%、金中89%、鴨中77%、寄島学園100%。暖房便座は、市内公立学校359基の洋式トイレの内89%となっている。

問 市内の学校は、災害時の避難所となっており、すべての避難者が利用しやすいように洋式化を図るべきと考える。

教育長 これまで、校舎の耐震化工事等の際にトイレの洋式化に取組んできた。文科省の指針でも、学校は地域の避難所としての役割もあることから、障がい者、高齢者、妊産婦等の利用も踏まえることが重要とされており、今後の整備方針を研究したい。

公立の小、中、義務教育学校の体育館の冷暖房設備について

問 公立小、中、義務教育学校の体育館の冷暖房の設置状況は。

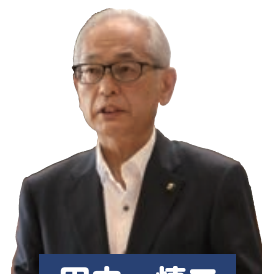
教育次 市内の学校体育館には、フロア部分に冷暖房設備はない。暑さ対策で、送風機やスポットクーラーを導入している。

問 体育館での運動の際に、児童・生徒が体調不良になったことはないのか。また、スポットクーラー等の台数を増やしてはどうか。

教育次 体育館での活動で、体調不良を訴える児童・生徒が年に数件から十数件ある。令和8年度、国の補助金を活用し、冷風機の設置を行う予定。

問 熱中症対策を早急に取組んでほしい。災害時にも対応できるように、学校体育館に冷暖房設備の導入を検討しているか。

市長 8年度中に、全ての小、中、義務教育学校の体育館に冷風機とポータブル発電機を設置する。冷暖房の設置は、多くの費用が必要で、市長会を通じて、国の財政措置を要望したい。



田中 慎二



令和8年度予算について

問 歳入予算で自主財源の寄附金予算が前年度2億4810万円に対し、79%のマイナス予算になっている理由は。

企財 企業から受領する企業版ふるさと寄附金において寄島中学校跡地利活用事業に関する寄附金見込額の減額が影響。

問 寄附金の中、令和7年度ふるさと納税の決算見込額は。

企財 1億6971万円と平成20年から活用を始めて過去最高額。

問 令和6年度実績額は県内15市の中で14位。ふるさと納税の拡大は自主財源獲得の重要施策と考えるが令和11年度3億円目標への具体策は。

企財 新たな返礼品の開発、提供事業者の開拓、SNS等の活用でリーダーや関係人口の拡大に努める。

浅口市通学路等交通安全プログラムについて

問 令和7年度の対応状況は。

教育次 要望件数132件に対し対応済等50件、8年度以降対応予定51件、継続検討24件。

問 緊急・重要案件への対応は。

教育長 危険個所の情報を基に担当部署が現地を確認、緊急性や優先順位を判断し対応。

問 道路の異状をより簡単・正確に通報できる国土交通省提供のLINE通報アプリの活用状況は。

産建 6年3月末より全国の道路を対象に利用が開始され市が対応した実績は2件。

浅口市内の公園整備について

問 金光駅西公園以外の公園整備計画は。

産建 具体的な計画はないが市民のニーズ、施設の状況などをふまえて総合的に検討。

問 老朽化した施設を次世代へ残すことも問題。鴨方図書館や天草公園の方向性は。

市長 天草公園は市内で最も古い公園。必要な改修や設備の更新を行い、引き続き大切にしていきたい。



加藤 淳二



浅口市の河川浚渫工事について

問 市の河川の状況や浚渫工事の現状と今後の方針について、県の管理する二級河川とそれ以外の管理するものが市の河川であるが、その種類に応じて管理方法や整備の進め方が異なる場合がある。整備の方法はどのようなになっているのか。

市長 毎年の降雨状況等により、土砂の堆積状況の変動が大きいという特徴があり、その変動を把握しつつ、適時対応する形が最適であり、土木委員を通じて現場状況や地元要望の把握に努め、適切な対応を行うことで災害の防止に努めている。

県が管理する河川についても、浚渫が必要と思われる箇所は県に対して浚渫工事を要望していく。

ごみのリサイクルについて

問 鉄スクラップは単なるごみではなく、極めて価値の高い循環型資源として市場価格が高騰、あるいは高値で安定維持されている。資源ごみとして分別収集され、売却益等の形で市財政等に寄与しているものと考えている。資源ごみとして鉄製、金属製の資源化と回収状況は。

生環 令和6年度の鉄やアルミなどが資源化されている量は年間約100トンで、売却益は158万円。

問 現在の缶類にとどまらず、リサイクルできる鉄、金属製品等の回収品目をさらに増やしてはどうか。

市長 プラスチック製品の分別収集が始まり、これまで以上に市民の協力により、適切にごみの減量化や資源化が進んでいる。金属資源等の分別収集については、市民への負担や収集運搬コストの増加など、解決すべき問題が多く、ごみの減量化やリサイクルを推進するためには、市民の一人一人の協力が不可欠であり、これからリサイクルの推進に向けた普及啓発に力を入れ、環境に優しいまちづくりを進めていく。



早苗 ネネ



高齢者（75歳以上）の生活実態について

問 生活に困窮しているまたはそのおそれのある高齢者に対し、どのような支援があるのか。

健福 令和3年から生活困窮者自立支援相談員1名を配置して、支援体制の充実を図っている。社協が実施している貸付制度やフードバンク利用があるが一時的にすぎない為、継続的な困窮の場合には生活保護になるものと考えている。

独り暮らしの高齢者について

問 家族がいても独り暮らしを望む高齢者の支援体制は。

健福 緊急通報システム事業、成年後見制度、給食サービス、生活支援サポーターによる軽微な家事支援がある。独り暮らしがどうかを問わず、普段の生活に困り事があつたら高齢者支援課まで相談してもらいたい。

家族と同居する高齢者について

問 家族側の負担をどう認識しているのか。

健福 介護は育児と異なり期間、方策も多種多様で仕事との両立が困難となると認識している。現在市では重度の介護を要する方を在宅で介護されている家族に介護用品の購入費用の一部を支給。6カ月以上寝たきりで医師が治療上おむつの使用が必要であると認めた場合には医療費控除として申告できる。

高年齢者の尊厳保持に向けた基本理念について

問 高齢者が最後まで尊厳を持って生きる為の支援について市の見解は。

健福 最期をどのように迎えるかだけではなくこれからどのように生きるか、どのような人生を送りたいかを考えるのは大切なことと思う。市では感心を持ってもらうきっかけになればと医師の講話や講演会を実施した。

市長 生活困窮に対する相談体制の充実も図っており気軽に相談してもらいたい。今後も絆を深め未来につながる地域共生社会のまちづくりを進めていく。



桑野 和夫



高齢者がいきいきと生活できる
浅口市のために

問 施策の一つとして、市でも補聴器の購入補助を実施してほしい。

健福 加齢性難聴への補聴器の補助制度創設に向けた要望書を国に提出しているが現在のところ動きはない。公的補助として国が実施することが望ましいと考えており国の動向を注視し判断していく。

市長 市の高齢化率は全国、県内と比較して高くなっており健康寿命を延ばすことが重要である。誰もが健やかに暮らし支え合うために引き続きいろいろな施策の展開を図っていく。

「来なくてもよい、行かなくてもよい市役所」について

問 市長は「来なくてもよい、行かなくてもよい市役所をつくる」と

言うが真意は。

企財 市民が市役所に行かなくても各種申請や届出、施設予約などの行政手続きについてスマートフォン等を活用して、申請ができる環境を整備することで利便性の向上を図るもの。

問 「市役所に来なくてもよい」と言われると市民が「要望が届けられない、意見が言えない」と捉えられる可能性があるがどうか。

企財 市民からの要望や相談業務は、これまでどおり対面対話など適切な方法で幅広く対応していく。

問 デジタル化について全面否定はしないが、DXにより人員削減につながらないか。

企財 人員削減を目的にしたものではない。職員が本来行うべき業務に集中できるようにすることで市民の満足度の向上に努めたい。

問 職員のマンパワーとデジタル技術を有効に結合して、より市民にやさしい市役所にしてほしい。

市長 DXの推進で、行政サービスのさらなる効率化と利便性向上を実現させ住みやすく安心して暮らせる市を築き上げていく。



山下 周吾



水道について

問 市民が安心して暮らすためには水道管の耐震化は必要。

六条院の大島線で発生した漏水事案のようにならないための対策は。

上下水 管路の布設年度や漏水履歴などを基に、優先順位をつけ効果的に更新していくこととしている。日常の監視と早期発見、補修が必要で、専門業者への委託等により、年間を通して計画的な漏水調査を実施し、早期の把握、補修により被害の拡大や二次災害の防止に努めている。

問 水道管の耐震化の進行状況と今後の計画と目標は。

上下水 水道管の耐震化事業は令和6年度から本格的に着手しており、耐震化率は6年度末で3・1%。岡山県全体の平均は30・4%となっており、市としては進んでいないと理解している。

今後の方針については、国の方針に基づき、災害時に重要となる防災拠点や避難所などの給水施設、これらに接続する配水池とを結ぶ基幹管路など、広域のかつ重要な役割を担う管路の耐震化を最優先に事業を進め、災害時において大量漏水の防止、早期復旧力の向上、給水箇所の確保等に努める方針である。

計画目標については、市役所、支所、消防署等の防災拠点となる施設や指定避難所を重要施設と位置づけ、これらの施設に給水する基幹管路を含む水道管を最優先の整備対象とし、26年度末までに耐震化することを目標としている。

市長 水道施設を始めとする各種インフラの老朽化が全国的な問題となっており、市内の水道管においても多くが更新時期を迎えている。水道事業を安定した状態で継続するため、基幹管路の耐震化と老朽管路の更新を喫緊の課題と位置づけている。災害時でも蛇口をひねれば水が出るという当たり前の生活が守られるよう、引き続き管路の耐震化及び老朽管路の更新事業を確実に進めていく。



山本 良通



浅口市内のため池の状況について

問 市内（3町別）にため池はいくつあるのか。

産建 金光町が101、鴨方町が189、寄島町が33となっている。

問 法定分類では一般農業用・特定農業用・防災重点農業用の3種類があるが、分かりづらい。個人所有や所有者不明のため池はいくつあるのか。

産建 ため池323カ所のうち、個人所有3、管理者不在20となっている。

問 高齢化が進んでいるが、継続した維持管理はできるのか。

産建 維持管理が難しくなっている現状もあり、利用の用途がなくなつたため池の廃止も行っている。農業従事者を含む地域が参画する管理手法も検討する意義があると考ええる。

問 小規模ため池の扱いはどうなっているのか。

産建 県と十分な連携、協議を図りながら、その池について個別に対応を検討している。

市長 防災上の課題がある95の防災重点農業用ため池は、県と連携し、劣化状況評価と地震・豪雨耐性評価を実施した。この結果に基づき防災工事を実施している。それ以外のため池についてもしっかり注視していく。

浅口市が購入しているリモコン対応式草刈り機について

問 リモコン対応式草刈り機の利便性は。

産建 安全性と省力化等。

問 市民から機械を貸してほしいなどの、声はないのか。

産建 一定数はある。

問 購入金額はいくらか。

産建 117万5900円と146万1900円となっている。

問 今後台数を増やしていく計画はあるのか。

市長 市は以前にこの事業を行っていた。技術の進歩等で安全が担保できれば検討していきたい。



佐藤 清美



地域防災力の強化について

問 災害発生時の情報発信や、避難所運営マニュアルの策定状況は。

企財 情報発信として、防災行政無線やライブビジョン、メールなどで迅速かつ確実な伝達を図っている。

生環 マニュアルは、平成29年1月に策定している。

問 避難行動要支援者の個別避難計画の作成状況は。

健福 令和8年4月現在、1368件となっている。

問 外国の方の避難行動の周知は。

企財 ホームページは数力国語に対応しており、この情報で避難していると認識している。

問 自主防災組織の活性化や防災人材育成への支援は。

企財 自主防災で必要な防災資機材に補助金を交付している。また立

ち上げへの支援や出前講座の実施等を行っている。

空き家の適正管理について

問 市の空き家の総数と実態は。

産建 平成27年と令和4年に全数調査を実施した結果、令和4年が1611件で、平成27年から611件増加している。

問 適正管理について市の方針は。

産建 自主的に適切な維持管理をする姿勢、地域資源としての活用、生活環境に悪影響を及ぼす要因への対処、相互連携・協力による取組体制の構築の方針を定めている。

問 所有者や購入者への補助制度はあるか。

産建 空き家のリフォーム経費の一部を補助する「空き家利活用事業補助金制度」があり、令和8年度から家財道具の処分に係る経費の一部を補助する「空き家家財等処分支援事業補助金制度」を新たに創設した。

問 倒壊の恐れがある空き家への対応は。

産建 まずは所有者等に適正な管理をするよう通知を送付する。



沖原 有美



防災について

問 新たな防災気象情報の主な改正点と、その効果の見込みは。

企財 警報、注意報等の名称に警報レベルの数字を付して発表される。発表された情報がどの程度の危険度か、またどの避難行動の目安かが、より分かりやすくなる。

問 自主防災組織の市内の組織率は、7%。

問 災害発生前の準備体制や本庁と支所との連携は、どのように行っているのか。

企財 状況に応じて注意体制や警戒体制などを取ることにしている。本庁と支所は平時から情報共有を図り、災害時には避難所の準備状況や職員の参集状況、また被害状況等を共有している。

問 過去の災害における検証をどのように活かすのか。

企財 災害対応における人員確保のための班体制の見直しや、災害時の業務体制の再整理などを行ってきた。今後、より実効性のある災害対応体制の構築に努めたい。

放課後児童クラブについて

問 各クラブの利用料や待機児童解消など、今後の運営方針は。

教育次 市が定めた補助金算定上の基準額は、月額で通常月が6000円、夏休みの8月が9000円。令和5年度以降、待機児童が発生しており、支援員の処遇改善に取り組むなどし、人材確保の取組を強化する必要がある。

問 子育て王国あさくちの名にふさわしくするために、市からの補助金や支援体制をさらに充実させてほしい。

市長 市の財政支援を今後も継続していく、受益者負担の考えの下、保護者の皆様にもご理解とご協力いただき、支援員の皆様の声に耳を傾け、取組を推進していく。



佐藤 正人



令和8年度当初予算の「倉敷市常備消防負担金」について

問 予算の概要と工期は。

企財 玉島消防署西出張所（金光）の耐震補強及び長寿命化工事を実施するため倉敷市へ負担金を支出するもの。工期は約6カ月を見込んでおり、現在入札に向けた準備を倉敷市が進めている。工事時期が決まり次第、あさくちなびや広報紙で周知したい。

問 工事期間中の緊急事態の対応に問題はなにか。また、金光町内での仮設出張所の検討は。

企財 工事期間中、西出張所の職員・車両とも玉島消防署の本署に配置されることとなるが、本署と勇崎出張所のバックアップ体制で対応する予定である。仮設の出張所を検討したが、機器の配置や署員の待機の確保

など適当な場所がなかった。

市長 今回の工事は、今後も安定した消防救急サービスの提供に必要な施設整備である。引き続き、倉敷市と緊密に連携を図りながら消防救急体制の維持・充実に努めていく。

結婚・誕生・移住等対象者へ記念樹サポーターの導入について

問 再整備が進んでいる金光駅西公園に記念植樹を提供しては。また、サポーターを募集して管理を任せてはどうか。

産建 基本計画策定時の市民アンケートでは暑さを避ける声が多くあり、樹木の植栽を検討している。しかしながら専用エリアや対象者を限定する点など、慎重に検討する必要がある。またサポーター制度についても、市民に無理なく愛着を持って維持管理に関わってもらえるかを研究したい。

市長 限られた敷地面積や公平性の配慮、持続可能や維持管理に適した木の種類、剪定などの課題もあり、慎重に検討していく。今後も郷土愛の醸成と魅力発信につながる公園づくりに全力を尽くしたい。



大武 智恵



5歳児健診について

問 5歳児健診は、子どもと保護者がともに安心して小学校生活を迎えるために重要である。実施予定と導入時期は。

健福 5歳児健診を就学前に実施することで、発達特性の早期発見や支援体制の充実につながるものと認識をしている。一方で、実施にあたり専門職の確保や健診後の支援体制の整備、必要な財源の確保などの課題もある。実施方法等について詳細な検討を進めるとともに、国の補助制度や近隣自治体の実施状況を参考に、できるだけ早期の実施に向けて準備を進めたい。

一時預かり事業について

問 現在一般型の一時預かり事業を実施している園はいくつあるか。

教育次 寄島こども園、聖華こども園、敬親かがた保育園の3施設で実施している。

問 保護者のニーズに対して実施の

回数は十分に確保できていると考えているか。

教育次 実施施設数や量については一定程度確保できていると認識している。

問 保護者から一時預かりが利用しにくいという声を聞く。一時預かり事業の広域連携を進めてはどうか。

教育次 令和8年3月に発足した子育て支援連携会議において、笠岡市、浅口市、里庄町と連携を図りながら、一時預かりを含めた保育サービスの広域利用等について協議と検討を進めていく。

ファミリー・サポート・センター事業について

問 市民の依頼件数は。そのうち、市民の提供会員が受けた件数は。

教育次 令和7年度の依頼が111件、うち本市の提供会員が依頼を受けた件数は0件。

問 ファミサポ事業の広報の方法とその頻度は。

教育次 年1回の広報あさくちへの掲載のほか、さまざまな方法で随時周知活動を行っている。今後は、より効果的な広報の在り方を検討する。

委員会による 所管事務調査がスタート

令和8年度より、総務産業・厚生文教の各常任委員会において「所管事務調査」を実施することとなりました。

「所管事務調査」で 何が変わる？

これまで議会は、主に定例会での議案審議を中心としてきました。しかし、行政監視や議案審議を行うだけでは、市民の皆様から負託された期待に十分に応えることはできません。二元代表制の一翼を担う議会として、議会には地域的、社会的課題の解決に向けた取組が求められています。

そこで、委員会が所管する分野（福祉、教育、産業、防災など）について、課題の深掘りを行うのが「所管事務調査」です。議会自らが主体的に調査を行い、行政に対してより具体的な政策提言を行うことを目的としています。

✓ 今後の進め方

調査期間を委員の任期である2年間とし、各委員会で決定した調査テーマについて、現地視察や意見交換などを行います。調査結果は、議会だよりやホームページに掲載する予定です。





定例会を動画でチェックしよう！

臨場感のある会議の様子をみてみよう！

スマートフォン・タブレットからの視聴方法



QRコード

QRコードを読み込む

リンク先をクリック

読み取り内容
<https://www.city.asakuchi.lg.jp/site/asakuchishigikai/6652.html>

注！ カメラアプリで読み込むもの、QRコード専用アプリで読み込むものなど、機種によって方法は異なります。



かんたん！

ホームページからの視聴方法

市議会ホームページ

インターネットで
市議会ホームページを検索

「本会議録画中継」から
「会議名」をクリック



なお、配信している動画の

ココ！

- ・令和6年3月定例会
- ・令和5年12月定例会
- ・令和5年9月定例会

各議員の一般
質問が視聴で
きます！

「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

＝ 傍聴へお越しください ＝

傍聴は、議会（定例会・常任委員会など）に触れることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽にお越しください。まず議会事務局で受付を済ませてお入りください。会議中、傍聴席へは自由に出入りできます。会議の詳しい日程は、ホームページ、あさくちメールやあさくちなび(ライブビジョン)などでお知らせします。

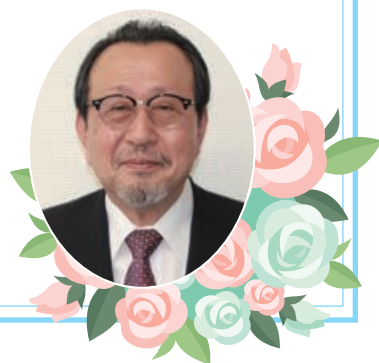
開催予定

- 総務産業常任委員会 8月4日（火）
 - 厚生文教常任委員会 8月5日（水）
 - 議会運営委員会 8月25日（火）
 - 9月定例会 9月1日（火）から
- すべて午前9時30分開会予定です。



竹本幸久さんが 旭日双光章を受章

竹本さんは、平成12年から寄島町長を約3年7カ月、合併後は3期12年間、浅口市議会議員として在職。産業建設常任委員会委員長を務めるなど、地方自治の発展にご尽力されました。



広報広聴特別委員会

「委員長」 沖原有美
「副委員長」 早苗ネネ
「委員」 大武智恵、平尾進、佐藤清美、田中慎二、山本良通、伊澤誠

声

の議会だより



目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、**浅口はるか会**のご協力により議会だよりを音読しています。

必要な方は社会福祉協議会へ

☎ 0865-44-7744



今月の表紙写真

議長室には議長、副議長の席があり、議会内の調整や賓客の接待など幅広い執務が行われています。